

# 記念式典行事一覧

## 2008年度開催

企画名	開催日	開催機関	会場
中央大学創立125周年記念 中央大学国際シンポジウム <b>ソウル ロースクール シンポジウム 2008</b> ➔ Vol.2	2008年6月5日	中央大学	韓国言論財団(プレスセンター) (韓国ソウル市)
中央大学創立125周年記念 上海国際シンポジウム <b>東アジアの時代と大学連携</b> ➔ Vol.2	2008年11月8日	中央大学	上海環球金融中心 (中国上海市)
中央大学創立125周年/商学部創設100周年記念公開シンポジウム <b>国際財務報告基準(IFRSs)の現状と展望</b> ➔ Vol.2	2009年3月10日	商学部	国連大学 ウ・タント国際会議場 (東京都渋谷区)

## 2009年度開催

企画名	開催日	開催機関	会場
都市環境学科誕生・中央大学創立125周年記念企画 <b>都市環境フォーラム</b> ➔ Vol.2 第1回:21世紀の公務員像/第2回:都市と自然環境を考える	第1回:2009年7月4日 第2回:2009年11月14日	理工学部 都市環境学科	中央大学後楽園キャンパス
中央大学創立125周年記念 理工学部シンポジウム&パネル展 <b>宇宙から見た地球、地球環境の中の水、水と生命</b> ➔ Vol.2 シンポジウム:講演・パネルディスカッション ポスター展示&ポスターセッション	2009年10月10日	理工学部	文京シビックホール (東京都文京区)
中央大学創立125周年記念・商学部創設100周年記念シンポジウム <b>商学部教育のこれからを考える</b> ➔ Vol.2	2009年10月17日	商学部	中央大学駿河台記念館
中央大学創立125周年記念 浮世絵の展示と関連シンポジウム <b>浮世絵百華 平木コレクションのすべて</b> ➔ P.6 前期展/後期展/講演会/公開シンポジウム エントランスホール展示:中央大学の歴史と文化	2009年11月21日~ 2010年2月20日	文学部 主催: (学)中央大学 平木浮世絵美術館 たばこと塩の博物館	展示・講演会: たばこと塩の博物館 特別展示室 (東京都渋谷区) シンポジウム: 中央大学駿河台記念館

## 2010年度開催 (一部2009年度実施を含む)

企画名	開催日	開催機関	会場
中央大学創立125周年記念 日中法学交流 <b>第3回日中法学交流シンポジウム</b> 第1回(2009年10月実施):政法大学民商法学院とのミニシンポジウム 第2回(2009年11月実施):山東大学での第2回日中法学交流シンポジウム	2010年 11月5日~7日	法学部	中央大学多摩キャンパス
中央大学創立125周年記念 <b>学術講演会</b> ➔ P.7	2009年6月~12月 2010年5月~11月	学事課	全国の学会支部がある地域 (2010年度は46会場を予定)
中央大学創立125周年記念 <b>図書館記念事業</b> ➔ Vol.2 1. 法学百科事典コレクション購入/2. 国際シンポジウム/ 3. 『貴重書コレクション資料集』作成	図書館資料購入: 2009年度 シンポジウム: 2010年10月9日	図書館	シンポジウム: 中央大学多摩キャンパス
<b>中央大学創立125周年記念式典</b> ➔ P.2 VR(バーチャルリアリティ)&寸劇上演	2010年11月13日	(学)中央大学	中央大学多摩キャンパス 9号館(クレセントホール) ※8号館へ映像配信
中央大学創立125周年記念 理事会企画特別行事 <b>「地球環境問題」に関するシンポジウム</b>	2010年11月(予定)	(学)中央大学	(後日発表)
中央大学創立125周年 <b>学会地域支部交流・報告会(仮題)</b>	2010年11月~ 2011年3月(予定)	(学)中央大学 中央大学学会	全国7地域
中央大学創立125周年記念 <b>経済学部インターンシップ体験報告会</b> ➔ P.6 — 現在、社会(企業)が大学生に求めているもの —	2010年10月または11月	経済学部	中央大学多摩キャンパス 8号館
中央大学創立125周年記念 <b>理工学 学術・研究交流会</b> ➔ P.7 学術講演会/パネルディスカッション/研究成果展示会/産学連携マッチ ング相談会/研究室公開/大学院入学相談会/大学院就職相談会	2010年11月1,2日 (予定)	理工学研究所 (研究開発機構)	中央大学後楽園キャンパス
中央大学創立125周年記念 連続公開シンポジウム <b>英吉利法律学校の125年 — 現在、過去、そして未来 —</b> ➔ P.8 英吉利法律学校創立時の法学教育について<通信教育部> 法科大学院教育の課題<法科大学院> 中国法の現状と比較法の課題<法学部> グローバル時代の比較法研究の課題<日本比較法研究所>	2010年11月6,7日	法学部 通信教育部 日本比較法研究所 法科大学院	中央大学駿河台記念館

中央大学創立125周年記念 <b>中大リレーマラソン</b> — ALL CHUO MIND の醸成 —	➡ P.9	2010年11月6日	FLP運営委員会	中央大学多摩キャンパス内コース
中央大学創立125周年記念展示 <b>学びのたから 中央大学の起源・絆・記憶</b>	➡ P.3	2010年 11月13日～20日(予定)	大学史編集課	中央大学多摩キャンパス 9号館(クレセントホール)
中央大学創立125周年記念 ビジネススクール国際シンポジウム <b>日本の国際戦略経営を考える</b> — 21世紀企業社会の行方 — (仮題) 特別講演・基調講演・パネルディスカッション		2010年11月27日	大学院 戦略経営研究科	中央大学駿河台記念館ほか
中央大学創立125周年記念 経済学部企画 <b>湧水を中心とした多摩キャンパスの生態系保全とピオトープの確立</b> 連続シンポジウム:多摩丘陵の自然保護、これまでとこれからの展望 第1回/第2回/第3回	➡ P.8	第1回:2010年6月12日 第2回:2010年7月17日 第3回:2010年11月13日	経済学部	中央大学多摩キャンパス 7号館・8号館

### 学生記念行事

企画名	開催機関
学生部関連企画/学生主体による学友会所属連盟ならびに部会企画行事 詳細は、中央大学創立125周年記念学生企画 Web サイトをご覧ください: <a href="http://www.chuoproject125.com">www.chuoproject125.com</a>	➡ P.9 学生部/学友会

### 附属高校記念行事

企画名	開催日	開催機関	会場
中央大学創立125周年記念 <b>附属3高等学校スピーチコンテスト*</b>	➡ P.9 2010年1月16日	中央大学高等学校 中央大学杉並高等学校 中央大学附属高等学校	中央大学附属高等学校
中央大学創立125周年記念 <b>附属3高等学校クラブ活動交流*</b>	➡ P.9 2010年6月19日	中央大学附属高等学校	中央大学附属中学校・高等学校
中央大学創立125周年記念 杉並高等学校セミナー <b>浅田次郎氏を招いて*</b>	➡ P.10 2010年2月3日	中央大学杉並高等学校	中央大学杉並高等学校
中央大学創立125周年記念 附属高等学校セミナー <b>小倉智昭氏に聴く*</b>	➡ P.10 2010年6月23日	中央大学附属高等学校	中央大学附属高等学校
中央大学創立125周年記念 中央大学高等学校セミナー <b>加藤諦三先生に聴く</b>	➡ P.10 2010年10月10日	中央大学高等学校	文京シビックホール (東京都文京区)

※ 中央大学高等学校セミナーを除き、一般の方は入場できません

### 国際交流行事

企画名	開催日	開催機関	会場
韓国延世大学との創立125周年合同企画 <b>剣道交流試合</b>	➡ P.11 2010年5月29日	中央大学 延世大学	延世大学 (韓国ソウル市) 共催:延世大学
韓国延世大学との創立125周年合同企画 <b>ロースクールシンポジウム</b>	➡ P.11 2010年9月3日		
中央大学創立125周年記念 <b>国際シンポジウム</b> 〈「留学生の集い」に合わせて開催〉	➡ P.11 2010年6月26日	中央大学 (国際交流センター)	シンポジウム: 中央大学後楽園キャンパス ※ 留学生の集い:アルカディア市ヶ谷
中央大学創立125周年記念 <b>中央大学「大メコンプロジェクト」国際シンポジウム</b> ①環境保護・経済発展支援/②企業経営支援	➡ P.11 2010年8月27日		ハノイ貿易大学 ハノイ国民経済大学 (ベトナムハノイ市)
中央大学創立125周年記念式典 海外協定大学等との連携・交流 <b>記念講演会/協定大学学長会議・懇親会</b>	2010年11月11日～13日		中央大学多摩キャンパス・ 後楽園キャンパスほか

### 記念出版

企画名	刊行予定	企画機関
中央大学創立125周年記念出版 <b>『タイムトラベル 中大125』</b> (仮題)	➡ P.11 2010年10月	大学史編集課
中央大学創立125周年記念 <b>総合政策学部英文学術書出版企画</b>	➡ Vol.2 2010年10月	総合政策学部
<b>『英吉利法律学校覚書』</b> (仮題)	2010年11月	中央大学出版部
<b>『125ライブラリー』</b> 第1期刊行	➡ P.12 2010年度	「125ライブラリー」 出版編集委員会

行事の詳細については、今号6～12ページ、および前号『中央大学の近況』vol.2にてお知らせしています。  
実施日や企画内容は変更の場合があります。詳しくは、中央大学創立125周年記念サイト (<http://chuo125.jp/>)にて順次更新の予定です。

中央大学創立125周年プレ企画

## 浮世絵百華 公開シンポジウム

— 浮世絵とは何であったか —

2010年2月20日(土) / 中央大学駿河台記念館

2月20日、文学部主催の展示「浮世絵百華」関連公開シンポジウム「浮世絵とは何であったか」が中央大学駿河台記念館で開催されました。

シンポジウムは、日本近世文化の著名な研究者を国内外から3名パネリストに迎えて行われ、当初予定の150名を大幅に超える200名近くの参加者で会場はほぼ満席となり、関心の高さをものごたる結果となりました。

永井和之学長の挨拶につづき、鈴木俊幸文学部教授の司会で、パネリストの中野三敏氏(九州大学名誉教授)、タイモン・スクリーチ氏(ロンドン大学アジア・アフリカ研究所教授)、ロバート・キャンベル氏(東京大学教授)からの基調報告をもとに非常に熱のこもった討議が繰りひろげられました。参加者からの質問も多く、当初予定の時間を超過する盛会となりました。



中央大学創立125周年記念

## 経済学部インターンシップ体験報告会

— 現在、社会(企業)が大学生に求めているもの —

2010年10月または11月 / 中央大学多摩キャンパス8号館

経済学部では、1995年度に全国の大学に先駆け、単位が付与される正規の授業科目として「インターンシップ」を開講し、2009年には15年目という節目を迎えました。

2010年度は自治体、民間企業、シンクタンク、金融、ジャーナリスト(新聞社・テレビ局・ラジオ局)など全15コースの講座を開講し、選考を通過した約150名の学生が履修しています。4月から始まった毎週の授業では各分野の

専門知識を身に付け、夏休みには職場での就業体験を行います。このように、経済学部のインターンシップは、「学び」と「現場での就業体験」の双方による学修が可能です。

また、経済学部インターンシップの「成果を学内外に広く発表し、互いの経験を共有することでキャリアに関する視野をさらに広げる」、「授業や就業体験により身につけた、組織の中で仕事をやる力(企画力、実行力、プレゼンテーション能力

等)を実践し、学生のさらなる成長につなげる」という目的のもと、2008年度から毎年11月に「インターンシップ体験報告会」を開催しています。2010年度は中央大学創立125周年記念事業の一環として、従来の体験報告とあわせ、経済界で活躍する卒業生をゲストに招いた記念講演会などのイベントを企画中です。

卒業生や大学関係者はもちろん、一般の方も大歓迎。経済学部におけるキャリア教育の取り組みについて関心のある方は、奮ってご参加ください。



詳細は経済学部 Web サイト「経済学部キャンパス ONLINE」で随時お知らせします。  
[www2.chuo-u.ac.jp/econ/internship](http://www2.chuo-u.ac.jp/econ/internship)

## 学術講演会

2009年6月～12月、2010年5月～11月／全国の学会支部がある地域

「中央大学学術講演会」とは、本学における学術研究の成果を広く社会に普及させることを目的として、本学の教員が講師となり、一般市民の皆さまや学員の皆さまを対象に開催しています。総合大学の強みと各講師の専門性を生かし、時事的な内容や参加される地域の皆さまに密着した内容等、多彩かつ大変興味深い講演会となっています。事前予約・聴講料は不要で、どなたでもご自由に聴講していただけます。

2009年度および2010年度の学術講演会は、「中央大学創立125周年記念」の冠を付し、中央大学および本事業を強く全国へアピールするとともに、学会のさらなる活性化をめざしています。

2009年度は、開催数43会場および聴講者総数3,430名ともに過去最高を更新しました。2010年度は46会場での開催が決定し、2年連続で過去最高を更新する見込みです。

本講演会は中央大学が主催となり、企画・運営を各学会地域支部に共催という形で協力いただきながら実現しているものです。開催を検討されている学会地域支部がございましたら、中央大学学事課(右記)までご連絡ください。

### 学術講演会予定(2010年7月開催分のみ抜粋)

その他の講演については、中央大学公式Webサイトをご覧ください。

7月3日(土) 14:00	三鷹駅前コミュニティ・センター(三鷹市)	
7月28日(水) 13:30	宮崎観光ホテル(宮崎市)	
	「語源」を楽しみ日本文化を考える	加賀野井 秀一(理工学部教授)
7月10日(土) 18:00	ホテル プエナビスタ(松本市)	
	シャッター街／限界集落は克服できるか —イタリアの小規模山岳自治体がヨーロッパ中から注目される理由—	工藤 裕子(法学部教授)
7月10日(土) 15:00	ティアラこうとう(江東区)	
7月17日(土) 17:00	三軒茶屋キャロットタワー「スカイキャロット」(世田谷区)	
	「外国人の参政権」を考える	長尾 一紘(法学部教授)
7月11日(日) 13:10	レストラン「ソルト館」(小金井市)	
7月24日(土) 17:00	パレスホテル立川(立川市)	
	認知症者の理解 —もし家族が認知症になったら—	緑川 晶(文学部准教授)
7月11日(日) 15:00	ベル・オーブ(盛岡市)	
	「外国人の参政権」を考える 金融危機以降の金融法制—中小企業金融円滑法・資金決済法と今後の金融法制の課題—	長尾 一紘(法学部教授) 杉浦 宣彦(ビジネススクール教授)
7月16日(金) 17:30	大阪新阪急ホテル(大阪市)	
	子どもを犯罪から守るために —安心・安全の町づくり—	藤本 哲也(法学部教授)
7月17日(土) 14:00	春帆楼(下関市)	
	二極化する日本 —貧富の格差と知的格差をどう超えていくべきか—	加賀野井 秀一(理工学部教授)
	子どもを犯罪から守るために —安心・安全の町づくり—	藤本 哲也(法学部教授)
7月23日(金) 18:00	西鉄イン福岡(福岡市)	
	地球温暖化と排出権取引 —CO <sub>2</sub> の25%削減は本当に可能なのか—	野村 修也(ロースクール教授)
7月24日(土) 17:00	ホテル日航金沢(金沢市)	
	縄文文化を探る —日本考古学最前線—	小林 謙一(文学部准教授)

お問い合わせ：中央大学学事課 042-674-2137 t-gakuji@tamajs.chuo-u.ac.jp

## 理工学 学術・研究交流会

学術講演会／パネルディスカッション／研究成果展示会／産学連携マッチング相談会／研究室公開／大学院入学相談会／大学院就職相談会

2010年11月1日(月)～2日(火)／中央大学後楽園キャンパス

理工学の学術・研究交流会を開催し、広く社会に中央大学の理工学研究をご紹介します。中央大学における理工学研究の推進拠点という新たな視座を提供し、社会的評価を高めるための端緒とします。

特に、理工学研究所の戦略的な研究目標である分野(水・環境、生命科学、電子社会システム、オペレーションズリサーチ、感性ロボティクス)を中心に、研究内容や成果、それらを支える大学院教育

の取り組みなどを一堂にご紹介します。

また、大型の競争的資金による研究拠点の取り組み状況をパネルディスカッションを通じてご紹介します。

企業研究者・エンジニアを対象として産学連携につながりそうな研究成果をご紹介します。新技術説明会や産学連携マッチング相談会、理工学研究科を志望する学生や理工学人材を求める企業との接点を深められるよう企業説明会等の企画も実

施します。

理工学の研究の高度化と社会の多様化への対応を図るとともに、社会貢献を視野に入れた企画にしたいと考えています。



## 湧水を中心とした多摩キャンパスの生態系保全とビオトープの確立

連続シンポジウム「多摩丘陵の自然保護、これまでとこれからの展望」

2010年6月12日(土)、7月17日(土)、11月13日(土)／中央大学多摩キャンパス7号館・8号館

生物多様性の維持は、将来に向かう私たち人類の生き残りをかけた課題であり、水資源はそれを支える最も重要な要因です。経済学部では、キャンパス内の自然の湧水に着目し、それを保全・再生することにより、生態系の復元を手がけます。多摩キャンパスの生物相の豊かさはまれに見るものであり、航空写真を見て明らかのように、広々とした緑のエリアは、中央大学の誇りといって良いでしょう。キャンパス内には、丘陵地特有の水質の良い湧水がいくつかあり、いまでもサワガニが棲息しているのが見られます。この企画では、水量の豊富な4カ所を選び、ビオトープとして保全することを計画しています。

この企画が成功すれば、数年後には、シュレーゲルアオガエルやヤマアカガエル、モリアオガエル、トウキョウサンショウ

ウオが再び増殖して、水辺の賑やかな生物相を取り戻せるはずで。記念行事として、多摩丘陵の自然保護に関わり続けてこられた方々を講師としてお招きし、多摩丘陵の自然史をテーマとしたシンポジウムを6月12日および7月17日に開

催します。また、保全生態学の分野で著名であり、サクラソウの研究で活躍なさっている鷺谷いづみ先生(東京大学)をお招きし、“生物多様性”をテーマとする講演会を11月13日開催します。多くの学員の方々のご参加をお待ちしています。



シュラン(左上)、トウキョウサンショウウオの卵(右上)、タモノカンアオイ(右下)、ナンバンギセル(左下)

## 英吉利法律学校の125年 — 現在、過去、そして未来 —

2010年11月6日(土)～7日(日)／中央大学駿河台記念館

中央大学の歴史は、ミドルテンブル(ロンドン)やボストン大学で学んだ法曹が、1885年に英吉利法律学校を創立したことに遡ります。法学部・通信教育部・法科大学院・日本比較法研究所の4法律学系研究・教育部門は、この125年を振り返り、そして次の125年を展望する合同・連続シンポジウム「英吉利法律学校の125年—現在、過去、そして未来—」を開催します。

国内外から多くのゲストをお招きする2日間・4セッションのシンポジウムでは、まず、日本最初の近代的法学教育機関の一つである英吉利法律学校の教育を検証し、次いで法科大学院制度および経済発展を続ける中国の法現状という今日的課題に光を当て、さらに、進展し続けるグローバル社会において、今後、法と

法律家がどのような役割を果たすべきかを考えます。

英吉利法律学校の伝統を直接受け継ぐ4部門ならではのシンポジウムとすべ

く、関係者一同準備に取り組んでいます。多くの学員の皆さまのご参加をお待ちしています。

内容(予定)	
11月6日(土)	
午前	英吉利法律学校創立時の法学教育について(通信教育部)
午後	法科大学院教育の課題(法科大学院)
11月7日(日)	
午前	中国法の現状と比較法の課題(法学部)
午後	グローバル時代の比較法研究の課題(日本比較法研究所)
ゲスト	
David Seipp	ボストン大学教授
Henning Rosenau	アウグスブルグ大学教授 ほか
実行委員長	
井上 彰	法学部教授・前法学部長

中央大学創立125周年記念

## 中大リレーマラソン ALL CHUO MINDの醸成

2010年11月6日(土)／中央大学多摩キャンパス内コース

前号でお伝えしたとおり、FLP スポーツ・健康科学プログラム河田弘道ゼミは、中央大学に関わる全ての人たちの愛校心や連帯感(= ALL CHUO MIND)を醸成するスポーツイベントとして創立125周年記念企画中大リレーマラソンを企画してまいりました。今回はさらに本企画の概要が決定しましたので、お知らせします。

募集対象
(ランナー・大会運営ボランティアとして) 中央大学在学学生、OB・OG、教職員
募集期間
6月～7月下旬(予定)
内容
5～10人のチームでキャンパス内のコース(一周約2km)を5時間でどれだけ走れるのか競う
申込方法等詳細(河田ゼミHP)
河田ゼミURL… <a href="http://sports.geocities.jp/kawadazemi/main/">http://sports.geocities.jp/kawadazemi/main/</a> (詳細は随時更新予定)

## 学生記念行事

CHUO125

中央大学創立125周年記念

### 学生主体による学友会所属連盟ならびに部会企画行事

学術、文化、体育の3分野における企画

学友会所属連盟ならびに部会は、学生主催行事の開催を予定しています。学生企画行事は、「学術企画」、「文化企画」、「体育企画」の大きく3つの分野に分かれており、各分野において様々な行事を予定しています。

現時点では、「学術企画」では聴衆参加型のディベート大会を、「文化企画」では本学における音楽系部会の様々なジャンルの演奏会を、「体育企画」では学員や一般の方が参加可能な競技大会や他校との交流戦の観戦試合などを予定していま

す。今後、さらにいろいろな学生主催行事を企画いたしますので、多数の学員の皆さまの参加をお待ちしています。

学生企画 Web サイト：  
[www.chuoproject125.com](http://www.chuoproject125.com)

## 附属高校記念行事

CHUO125

中央大学創立125周年記念

### 附属3高等学校 クラブ活動交流※

2010年6月19日(土)／  
中央大学附属中学校・高等学校

普段の練習の成果を確認し、さらに3高等学校の交流を図ることを目的として、クラブ活動交流を実施します。

3高校の生徒たちが一堂に会して競技を行い、普段あまり見ることのない他のクラブの応援などで交流を拡大することにより愛校心を持ち、さらにお互いが中央大学の一員であるという帰属意識を高め、お互いの友情を深めあう機会となることを期待しています。

運動部
硬式野球・軟式野球・サッカー・男女バスケットボール・男女バレーボール・男女バドミントン・剣道・柔道・男女テニス・ソフトテニス・卓球
文化部
吹奏楽・合唱・写真の展示

※ 一般の方は入場できません

中央大学創立125周年記念

### 附属3高等学校スピーチコンテスト

2010年1月16日(土)／中央大学附属高等学校(体育施設・多目的ホール・生徒ホール)

附属3高等学校英語スピーチコンテストが中央大学附属高等学校で1月に開催されました。各校の予選を通過した15名の生徒が出演。会場には各校の生徒や保護者、教職員が100余名集まりました。

三枝幸雄附属高校校長の挨拶、昨年度の総長賞受賞者、高橋満里菜さん(中大杉並高校3年)による総長杯返還のあと、スピーチに入りました。スピーチは5分間で、「最近のできごとや体験から感じたこと」、「The Most Influential Person in My Life」、「その他自由なテーマ」の中から1つを選んで行いました。

審査員をつとめたヘッセ法学部教授、モートン商学部教授、キャンター経済学

部教授の審査の結果、中央大学総長賞は並木久望子さん(中大高校1年)、審査員特別賞の内容・構成部門は後田悠里さん(中大附属高校2年)、英語表現部門は清水美里さん(同1年)、発音・アピール部門は酒井都さん(中大杉並高校1年)がそれぞれ受賞、参加生徒全員に努力賞が与えられました。



## 加藤諦三先生に聴く

2010年10月10日(日)開場13時・開演14時／文京シビックホール 大ホール(文京区)  
※ 正午より会場にて入場整理券を配布します

中央大学高等学校では記念講演会として、著書や講演等を通じて「心のあり方」や「生き方」について示唆を与えてこられた加藤諦三先生をお招きし、「非社会性の心理学」と題して、現在の日本が抱える病理に関してお話いただきます。

非社会性とは「あたりまえが通じないこと」。加藤先生は、基本的価値観の共有ができない社会の危険性を訴えてこられました。このテーマは、「質実剛健」「家族的情味」を校風とする中央大学、また

本校にとって時宜を得たものであり、高校生のみならず中学生から大学生、社会に出て間もない方まで、人生に希望を抱き、力強く歩いていくための糧になるようなお話となることでしょう。

講演会は、地元文京区をはじめ、一般の方々にも広く公開します。お問い合わせのうえぜひご来場ください。

お問い合わせ：中央大学高等学校事務室  
03-3814-5275



## 浅田次郎氏を招いて※

2010年2月3日(水)／中央大学杉並高等学校

本校の5期生である浅田次郎先生の講演会が、2月3日、第一体育館で行われました。今年度卒業する45期生の卒業記念品となる「浅田次郎文学碑」の除幕式も執り行われました。

浅田先生の講演の中に、時間の使い方がその後の人生に大きく影響を与えるというお話がありました。これから卒業して大学生になる本校の生徒にとって、このお話は、大学生生活を送るうえで一人ひとりが深く考えさせられる有意義で貴重な機会となりました。

講演会終了後、浅田先生はサイン会を快く引き受けてくださり、約200名の

生徒がサインを求めて並びました。その一人ひとりに丁寧に宛名入りサインをしてくださり、生徒はみなサイン入りの本を大切に抱え、喜びながら会場を後にしていました。



## 小倉智昭氏に聴く※

2010年6月23日(水)／中央大学附属高等学校

中央大学附属高等学校出身の小倉智昭氏を招聘し、6月23日に本校全生徒向けの記念講演会を開催します。

小倉氏は、中央大学附属高等学校の卒業生で、在学中は陸上競技部に所属し、全国大会に出場しました。獨協大学を卒業後、東京12チャンネル(現テレビ東京)にアナウンサーとして入社。その後、29歳でフリーアナウンサーとなり、司会者・タレントとして幅広く活躍しています。

現在、1・2年生に、「聞いてみたいこと、話して欲しいこと」のアンケートをとっており、これに基づいて演題を決める予定です。

※ 一般の方は入場できません

## 国際交流記念行事

中央大学は、「学び・教育・研究のすべての分野で、国際的な大学としての地位を確立、発展させるとともに、国際社会で貢献できる優秀な人材を育成する」という目的で国際化戦略を推進しています。その柱として、①学生に国際化の機会を提供、②国際的なパートナーとの交流、③国内外の卒業生との緊密な関係構

築などを掲げています。

中央大学では創立125周年を記念して、これらを具現化する様々な行事を企画しています。海外トップレベルの機関との友好的な連携・協力は、本学の教育・研究に有益であるばかりでなく、中央大学の国際的な評価を高めることに繋がります。

2010年11月13日の記念式典では、本学が国際戦略上とくに重要と考えている海外協定大学や関係機関の方々を来賓としてお招きするほか、その前後には学長会議等を開催し、親密かつ友好的な交流を実施し、信頼関係をより強固なものとしします。

中央大学創立125周年記念

## 大メコンプロジェクト 国際シンポジウム

①環境保護・経済発展支援 ②企業経営支援

2010年8月27日(金)／ハノイ貿易大学・ハノイ国民経済大学(ベトナム・ハノイ市)

国際シンポジウムに先立ち、8月26日にハノイ市内で、東南アジアの協定大学長をはじめ大メコンプロジェクト関係の研究者や政府・企業関係者等を招き、交流会を開催します。本学がメコン川流域諸国と協力してアジアの人材育成と研究交流が促進できるよう交流、親睦を深め、本学の同地域における人的拠点の構築を図ります。

8月27日には、本学協定大学であるハノイ国民経済大学とハノイ貿易大学の2大学の協力により、ベトナムの学生、一般、さら

に本学学生も参加し、国際シンポジウムを開催します。ハノイ国民経済大学では環境・経済、ハノイ貿易大学では企業経営をそれぞれテーマとして同時開催の予定です。



中央大学創立125周年記念

## 国際シンポジウム

「留学生の集い」にあわせて開催

2010年6月26日(土)／中央大学後楽園キャンパス

海外で活躍する本学卒業生は多く、ソウル、上海、バンコク、ジャカルタ、バンクーバー、台北などで中央大学と現地卒業生との交流会を開催してきました。国際化推進にあたって卒業生各位のご支援は大きな強みであり、記念行事を通じてこのネットワークをさらに強固なものにしたいと願っています。

6月26日には、本学に留学し海外で活躍する卒業生をパネリストに迎え、国際シンポジウムを開催します。学生時代の思い出や卒業後の状況、本学の魅力や在学生へのメッセージを通じ、中大生の国際感覚を涵養したいと考えています。

韓国延世大学との創立125周年合同企画

## ロースクールシンポジウム

2010年9月3日(金)  
／延世大学(韓国・ソウル市)

2008年度に125周年プレ企画として韓国ソウルで実施した国際シンポジウムの第2弾として、延世大学をはじめ韓国協定大学等の学生、研究者を対象としたロースクールシンポジウムを開催します。

韓国内に定着した「ロースクールなら中央大学」という本学の知名度を不動のものとし、学術的に親交の深い協定大学等とのネットワークを強化します。

韓国延世大学との創立125周年合同企画

## 剣道交流試合

2010年5月29日(土)  
／延世大学(韓国・ソウル市)

海外協定校との学生レベルでの組織的なスポーツ交流では本学初となる2大学合同企画として、剣道交流を実施します。

延世大学では学生や教職員が剣道を盛んに行っており、両大学の創立125周年記念行事として企画されたものです。

学友会剣道部の師範を団長に、部長、監督、剣道部員12名と卒業生8名が延世大学を訪問。合同稽古などの交流を通して両大学の親睦をはかります。



延世大学キャンパス

## 記念出版

中央大学創立125周年記念出版

## タイムトラベル 中大125

2010年10月刊行予定

中央大学の125年にわたる歴史を紐解いていくと、さまざまな事柄にぶつかります。

たとえば、18人を数える創立者が、それぞれ一体どんな人物だったのか。

今の大学は4年制ですが、昔からそう

だったのか、学部があったのか、勉強の期間はどれくらいだったのか、学費はいくらだったのか、などなど大学の成り立ちや学生生活について次から次へといろいろな疑問が浮かんできます。

この本では、そうしたわかっているよ

うで実は?というような問いかけにもお答えできるよう構成に配慮しつつ、現在、編集作業を進めています。

ちょっとしたエピソードを散りばめながら、「へえ、知らなかった! 中央大学の歴史ってこうなんだ」と、大学に愛着を感じていただける本作りをめざしています。

125年の時間ときをどこからでも自由自在に楽しんでいただければ幸いです。



# 125ライブラリー

第1期刊行

2010年度

『125ライブラリー』の出版は、広く一般の方々に読んでいただける本を、125周年である2010年度を起点に次の時代を視野に入れた継続的事業として順次刊行し、社会への発信を続けていこうというもので、その意義は大きいものと考えています。

執筆は、本学教職員のみならず、卒業生、その他本学にゆかりのある方とし、内容は、高校生以上の一般を対象とした読みやすい啓発的な教養書(高度に学術的な専門書、小説などの創作は除く)を対象としています。四六判200ページ程度で、2010年度の第1期分は最大

10冊程度の刊行をめざし、公募しましたが、予想を大きく上回る31件の応募がありました。

「125ライブラリー」出版編集委員会では、出版の趣旨に沿うものかどうかをそれぞれ慎重に審査し、記念式典へ向け順次刊行していく予定です。

## 本学出身者2名が最高裁判所判事に就任

最高裁判所判事3名の定年退官に伴い、政府は昨年末に後任となる3名の任命を決定し、今年1月にかけて新判事3名が就任しました。

そのうち、須藤正彦氏(昭和41年法

卒)、横田尤孝氏(昭和44年法卒)の2名は本学出身で、2009年秋の叙勲で旭日大綬章を受章した才口千晴氏やこのたび退官となった甲斐中辰夫氏に次ぐ本学出身の最高裁判事となりました。

1947(昭和22)年に最高裁判所が設置されて以来、私学出身の最高裁判所判事が限られているなか、本学からはこれまでに12名の判事を輩出しています。

### 本学出身の最高裁判所判事

(日付は在任期間 敬称略)

たにむら ただいちろう

谷村 唯一郎

1951年4月12日～1956年11月10日

ごきじょう かきわ

五鬼上 堅磐

1961年8月26日～1966年12月31日

かしはら ころく

柏原 語六

1963年12月13日～1967年9月19日

つかもと しげより

塚本 重頼

1979年4月2日～1981年10月17日

きどぐち ひさほる

木戸口 久治

1982年4月12日～1986年1月8日

おくの ひさゆき

奥野 久之

1987年9月5日～1990年8月26日

おの もとお

小野 幹雄

1992年2月13日～2000年3月15日

ふかざわ たけひさ

深澤 武久

2000年9月14日～2004年1月4日

かいなか たつお

甲斐中 辰夫

2002年10月7日～2010年1月1日

さいぐち ちほる

才口 千晴

2004年1月6日～2008年9月2日

すどう まさひこ

須藤 正彦

2009年12月28日～

よこた ともゆき

横田 尤孝

2010年1月6日～



本学法科大学院模擬法廷にて。左から、須藤氏、才口氏、甲斐中氏、横田氏。

### ■ 須藤正彦氏プロフィール

栃木県出身。

1966年中央大学法学部卒業。

1970年弁護士。法学博士。

東京弁護士会副会長、司法研修所民事弁護教官、国際医療福祉大学客員教授、日本長期信用銀行(特別公的管理銀行)内部調査委員、足利銀行(特別危機管理銀行)業務監査委員、日本弁護士連合会綱紀委員会委員長、東京都労働委員会公益委員などを歴任。

### ■ 横田尤孝氏プロフィール

千葉県出身。

1969年中央大学法学部卒業。

1972年検事任官。その後、東京、仙台、宇都宮、横浜各地検等に勤務。

福岡地検公安部長、福岡地検刑事部長、東京地検総務部長、司法研修所上席教官、最高検検事、奈良地検検事正、法務省保護局長、法務省矯正局長、広島高検検事長、次長検事などを歴任し、2007年退官。2008年弁護士。